

内閣府

2010-11-9

官民競争入札等監理委員会事務局 兼 公共サービス改革推進室
参事官補佐：横澤 良子、中出朋彦どの 参事官：田中秀明 どの

これと同じページは <http://dten-wisdom.jp/2010-11-9.pdf> で見ることができます。

作成：江崎通彦 esaki@dten-wisdom.jp

提言側

鶴田国昭（もと米国コンティネンタルエアーライン上級副社長）[経歴](#)

江崎通彦（もと防衛庁調本 21 世紀委員会委員、もと朝日大学教授）[経歴](#)

大城順一（日本資材管理協会事務局）

2010-11-9 アジェンダ

2010-11-9（火）は、時間が限られていると理解しているので下記のようにアレンジしました。

準備資料

1. 広義の公共サービスの改革推進 におけるコストダウンの PMD（目的と手段の関係）

<http://dten-wisdom.jp/00001-2010-11-9naikakufuPMD.pdf> このダイアグラムからの要点

(1)（上位目的）の効果的、効率的なコストダウン行政をする、ために

何をすればよいのかの要点は、PMD より

(25) 米国での現地サプライヤーと日本商社のカルテルの排除をすること（鶴田氏のレポートによる証言）

<http://te-wisdom.net/EJ-file/05-03-15%20t-report-EJ.pdf>

(24) 防衛省自体の自縛の排除をすること

(21) 民間の取引基本契約書の採用をすること（資材管理食おう会の雛型の適用）

(18)(19) 過去分析、未来分析からの課題抽出の方法を改善することと <http://dten-wisdom.jp/00001-J-analysis.pdf>

知識を知恵にかえる方法の適用

それに基づく制度設計の方法の改善をすること

この具体例として最近の低料金航空のための空港サービスとそれに関連した安全性の確保の例

（鶴田氏が説明）<http://te-wisdom.net/sotokara/2010-10-25-5-55-airlinesafety.pdf>

<http://te-wisdom.net/sotokara/2010-10-18sotokara-mita-nihonn.pdf>

2. 民間におけるコストダウンの方法から見た、行政調達のコストダウンの方策（資料の提供）

資料の内容は、<http://dten-wisdom.jp/00001-2010-11-9naikakufu.pdf> で見れます。

時間があれば説明、あとで詳しく読めるように、CD-ROM を提供

目次は次のようになっています。

(1) コストダウン原点の要点の認識

(2) 日本における民間における合理的なコストダウンの基準

基本取引契約書があるので、乙の価格明細を必要に応じ、甲の要求の区分書式で要求できる

<http://dten-wisdom.jp/J-personal%20use/torihikihonkeiyaku%20heika.pdf>

<http://dten-wisdom.jp/J-personal%20use/tempfile/kihonnkeiyaku%20no%20meritto.pdf>

(3) 日本における日本国内品の行政調達のコストダウンをするときの問題点とその対策

(4) 行政が外国から輸入調達をする場合の問題点とその問題解消のための対策

- (5) 行政が商社経由外国から輸入したか買うに合わせて国産化したもののコストダウン
- (6) 上記を実現するための考え方の必要条件

3. 詳細前提条件付き標準工数のデータベースとそれを使った合理的なコストダウン（工数低減）の方法（資料提供）
前提条件がまったく同じであれば、慣れた人であれば、世界中どこへ行っても同じ工数の原理を利用した標準工数。